

[大佛次郎記念館]
 平成 28 年度業務計画及び収支予算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	大佛次郎記念館
所在地	横浜市中区山手町 113 番地 港の見える丘公園内
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階 地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 593.13㎡ 延床面積 1,166.30㎡
開館日	昭和53年5月1日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 5 年間

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

日本を代表する知識人であり作家である大佛次郎の記念館として、資料の適切な収集、保管、公開、活用を通じ作家と作品を後世に伝えます。またこのような個人文学館としての使命を維持しつつ、

①近隣の学校や文化観光局、中区役所、教育委員会、図書館などと連携し、広く市民の読書活動や文芸の発展に寄与すること

②地域連携や市民協働により、記念館及び記念館で行われるあらゆる活動を支えていただける関係を構築すること

③観光地であるという立地の特徴を踏まえ、大佛の愛した「猫」関連の企画や、スタンプラリー等コンテンツツールの推進、建物の特長を活かした撮影誘致等、様々な参加者、利用者と呼び

込み、地域のにぎわいと活気を創出すること

- ④オープンデータやデジタルアーカイブに関する潮流を捉え、ICTを活用した情報の集積・提供サービスの向上に資する事業や取組みを実施すること
- 等を通じ、専門家、市民、観光来訪者等さまざまな方々が利用し、集い、学び、楽しむことができる「新しい文学館像」を模索、実現します。

(2) 28年度の業務の方針及び達成目標

- ・大佛次郎の人物、作品の魅力を後世に伝えるというミッションを維持しつつ「新しい文学館像」を実現していくためのスタートの年度と位置づけ、指定管理提案に則った様々な事業を実施し、また実施のための準備を進めます。
- ・事業、施設運営、維持管理等の項目につき、事の大小に関わらず行ったことは実績として記録、発信します。
- ・新しく内部に職能として設置した「研究員」の専門性を活かし、展示事業のみならず、その他の事業や施設運営における様々な場面においても研究員の視点を導入し、当記念館の特色を打ち出します。
- ・指定管理に切り替わったこと、また非公募選定であることの責任を重く受け止め、横浜市文化観光局との強固なパートナーシップを築きます。
- ・大佛次郎研究会、各出版社、喫茶「霧笛」、山手西洋館、公園管理事務所、元町SS会、ホテル等の観光施設、近隣学校等、各関係先と「顔の見える関係」を構築し、連携をこれまで以上に推進します。
- ・過去3か年にわたって行われた大学生による記念館活性化プロジェクトの成果を踏まえ、継承事業を企画、実施します。
- ・職員の説明力を鍛え、各業務における成果や公益的意義について説明責任を果たします。
- ・コンプライアンスと収支管理を徹底し、安定した経営を実現します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業について

ア 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

[取組内容]	[達成指標]
①資料収集 大佛次郎関連資料の寄贈を随時受け付けるとともに、情報収集に努め、適切な収集を行います。	■新収資料については、市民の財産として積極的に情報発信し、公開します。 目標：おさらぎ選書「資料収集」コーナーへの掲載
②資料保存 所蔵資料を後世に継承するため、資料の劣化を防ぎ良好な状態を保ちます。	■貴重な資料の管理や保護に注力し、自筆原稿等特に貴重な資料の管理に細心の注意を払います。 ■温湿度管理の徹底と中性紙箱に収める等の方法で資料の保

<p>専門的な観点から収蔵資料の整理を行い、収蔵品展等に活用します。</p> <p>③展示公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展（収蔵品展） ・愛蔵品展示コーナー ・1階ロビー展示 <p>④展示以外の資料公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧室での図書閲覧 ・「おさらぎ選書」に目録を掲載。 ・収蔵資料目録のデータベース化を進め、ホームページ上で公表します。 ・研究目的に沿った的確なレファレンスサービスを提供します。 	<p>全を行います。</p> <p>■収蔵資料の整理手順を確立することで効率的に整理を行い、活用します。目標：整理手順の確立</p> <p>□上半期、下半期と年2回に分けて「大佛次郎の生涯」にスポットを当てた収蔵品展を展示室で実施します。 目標：年1回の全体的な展示替え実施</p> <p>□歌人吉野秀雄との交流に焦点をあてて関係した旧蔵資料等を愛蔵品展として記念室前展示コーナーで展示します。 目標：愛蔵品展示コーナー及び1階ロビー展示 各年1回の展示替えの実施</p> <p>■データカテゴリーを追加します。</p> <p>□ホームページ上で新規に公表するデータ数：700件以上</p> <p>□レファレンスサービス件数：年間40回以上</p>
---	--

イ 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

<p>[取組内容]</p> <p>大佛次郎の作品等に関する調査研究成果を展示、出版、講座・講演等により、社会へ還元します。</p> <p>①テーマ展示</p> <p>●磯貝宏國コレクション Vol.2 「鞍馬天狗ワンダーランドー昭和のあそび」 H26年度に受贈した「鞍馬天狗」磯貝宏國コレクションを活用し、おもちゃを中心に昭和時代</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□テーマ展示の実施：3回</p> <p>□観覧者目標 15,400人 (H25 実績 13,590人、H26 実績 14,732人)</p> <p>□入館目標数：5,200人</p> <p>■昭和のあそび体験コーナーの開設</p>
---	--

の遊び（めんこ、ベーゴマ、たこあげ、カルタなど）を多角的に紹介します。

また実際に遊びを体験できるコーナーを設けます。

・ターゲット

実際に遊んだ世代であるシニア世代及び親子連れ、観光客

・期間

3月17日（木）～7月10日（日）

■時間を切り取る画家「ポール・ルヌアール」

記念館が収蔵する大佛次郎の旧蔵資料「ポール・ルヌアール（画家、版画家、1845-1924）」の版画約300点のうち、版画集「動き、しぐさ、表情」に集録されている動物や街中で遊ぶ子どもの版画約50点を今回初展示します。

・ターゲット

美術愛好家、フランス好き等

・期間

7月14日（木）～11月13日（日）

■ロマン・ロラン生誕150年「大佛次郎とロマン・ロラン」（仮）

大佛次郎が第一高等学校仏法科に入学し、ロマン・ロランの作品に出会ったのが本格的な関わりでした。28年度はロマン・ロラン生誕150年であり、大佛次郎にとって、また同時代人にとってロマン・ロランとはどのような存在であったのかを軸に、大正時代から戦前、戦後を通じた大佛次郎とフランスの関係をたどります。

・ターゲット

□入館目標数：5,100人

■アーツフェスティバル実行委員会事業と連携します。

目標：サポート事業としての展示実施

目標：助成金申請が採択された場合、SPレコードコレクションを活かした企画の実施

□入館目標数：5,100人

■講演会等の関連事業：会期中1回以上

<p>フランス文学愛好家等</p> <p>・期間 11月17日(木)～平成29年3月12日(日)</p> <p>②おさらぎ選書の発行</p> <p>●「おさらぎ選書」第24集を発行します。また、29年度の第25集発行に向け、編集、執筆及び執筆依頼を行います。</p> <p>③情報の集積と発信</p> <p>一般紙誌の掲載につながる話題を積極的にリリースするとともに、公式サイトの実装や、ブログやSNSを用いたタイムリーな発信を行います。</p> <p>公園内の話題(花の話題等)や山手西洋館の行事にも積極的に言及します。</p>	<p>■「おさらぎ選書」第24集では、ロマン・ロラン生誕150年を記念して、「大佛次郎とフランス」と題し、論文「大佛次郎のロマン・ロラン」、「野尻清彦と関一」及び大佛次郎書簡翻刻を掲載します。</p> <p>発行予定年月：平成28年6月中</p> <p>■新収蔵、初公開等の情報を発信します。</p> <p>■SNSアカウントを開設、運用します。</p> <p>目標：ツイッターアカウントの開設 目標：フェイスブックアカウントの開設</p> <p>□ブログ更新回数：月5回</p>
---	--

ウ 各種文化的行事の実施

<p>[取組内容]</p> <p>①各種文化的行事の実施</p> <p>各種文化的行事を実施し、大佛次郎及び作品の普及啓発を行います。</p> <p>●横浜文学散歩の開催</p> <p>●大佛次郎賞記念講演会</p> <p>○大佛次郎研究会公開発表会</p> <p>②施設及び山手エリアの活性化</p> <p>●和室公開</p> <p>春の桜、晩秋の紅葉の時期に和室を公開し、来館者に窓から眺める景色を楽しんでいただくと</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□横浜文学散歩を年1回開催します。</p> <p>目標：参加者20人</p> <p>■朝日新聞社との共同主催で、大佛次郎賞受賞記念講演会を年1回開催します。目標：参加者240人</p> <p>■大佛次郎研究会に対し、資料の閲覧、会議室の利用、選書への論文掲載等の便宜を図るとともに、年2回開催される研究会公開発表会を共催し、活動を支援します。</p> <p>□目標来場者数 春・秋各400人</p>
--	--

<p>同時に、大佛の作った俳句等を展示し、啓発に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春 3/20(日)-4/10(日) (19日間) ・秋 11/27(日)-12/11(日) (13日間) <p>○大佛茶亭公開 鎌倉風致保存会主催の鎌倉市雪ノ下にある「大佛茶亭」の公開に合わせて、書籍、グッズ販売等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春 4/9(土) ・秋 10/1(土) <p>③子ども対象事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学生ミニ・ビブリオバトル 本好きだった大佛次郎のスピリットを伝えるとともに、読書全般に対する振興事業として、昨年度に引き続き第4回ミニ・ビブリオバトルを実施します。 ○夏休み子どもアドベンチャー 市教委主催の夏休み子どもアドベンチャーに参加し、子どもたち及び保護者の入館を促進します。(ねこをみつけよう、よみきかせ、ねこを書こう) ●感想画展など、小中学生無料化に伴い、親子での来館を促す企画を実施します。 <p>○神奈川県博物館協会主催のミュージアム・クイズラリー2016に参加し、来館者増を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■会場で書籍、グッズ販売を実施、施設の紹介も行います。 ■春秋の公開に伴い茶亭の展示コーナーを展示替えします。 <p>■中区との連携事業として年1回開催 連携先と調整中であり、事業規模や実施時期について現在検討中です。詳細について、今後、市と協議し決定します。</p> <p>□参加者目標：80人（保護者含む）</p> <p>■年1回実施 事業規模や実施時期について現在検討中です。詳細について、今後、市と協議し決定します。</p> <p>□参加者目標：500人</p>
<p>④観光客や新規来館者を呼びこむ企画</p> <p>○「猫」企画の実施 大佛次郎の愛した猫を切り口</p>	<p>■会議室での展示事業として年1回実施</p>

に、新たな来館者層を開拓します。	
------------------	--

エ 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

<p>[取組内容]</p> <p>①記念館の雰囲気や建物の魅力を生かした利用の誘致を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学校茶道部の利用促進を行います。 ●平成 29 年度近隣教育機関と連携し、オープンウスを実施します。 <p>②会議室、和室の利用促進 建物の魅力を活かした撮影利用や、展示利用等を誘致します。</p> <p>③リピート利用に向けた方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和室、会議室での附帯設備導入等による利便性向上 ・会議室の利用者の意見を聞き設備面・サービス内容等を改善。 ・ホームページでの情報提供。 <p>④ティールーム「霧笛」との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互割引の継続実施及び団体利用客への霧笛紹介。 ・記念館活性化プロジェクトで開発されたメニューの継続販売。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■初釜、部活発表会等の利用案内の発送：年 1 回 ■平成 29 年度のオープンハウス実施に向けた打ち合わせの実施 <p>□ドレス撮影会等、商業撮影の誘致：年 5 回以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ウェディング撮影を近隣のホテルや結婚式場と連携して誘致を推進します。 ■撮影等、特徴ある利用実績を記録し、アピールに使用します。 ■主催または共催で、会議室の連続利用につながる展示事業を開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ■附帯設備の充実を検討します。 ■改善を実施し、実績を HP や SNS を通じ発信します。 ■HP に「和室・会議室空き状況」ページを開設します。 <ul style="list-style-type: none"> ■チケット半券ーレシートの提示による相互割引を継続します。また団体客や貸館利用者へティールームの利用を呼びかけます。
---	--

オ 市民協働及び地域とのネットワーク構築

<p>[取組内容]</p> <p>①近隣教育機関との連携</p>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■近隣小学校等とは、チラシ配布、ポスター掲示等で日常的な協力関係を築くとともに、小学生ミニ・ビブリオバトル
----------------------------------	---

<p>②近隣施設等との連携</p> <p>●横浜山手芸術祭への参加 横浜山手西洋館ユースギャラリーの会場として、親子の来館を促進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 市立北方小学校児童作品を会議室に展示 ・期間 平成 29 年 2 月（10 日間） <p>●山手西洋館（横浜市緑の協会）との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋館クイズ ・山手西洋館ハロウィンウォーク ・山手通信への情報掲載 <p>●県立神奈川近代文学館との連携</p> <p>③近隣商店街等との連携</p> <p>元町商店街（元町 SS 会）、横浜高速鉄道（株）、ホテルニューグランド等と連携します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンパドウルに、大佛次郎記念館活性化プロジェクトから生まれた冬季限定パン「ピコンリキュールのごほうびサバラン」の販売継続を働きかけます。 ・ホテルニューグランドの大佛次郎ゆかりの「天狗の間」宿泊プランの継続を働きかけます。 <p>④研究者団体等の文化活動への場の提供</p> <p>⑤財団他施設との連携</p>	<p>等の子ども対象事業を行う場合には、挨拶まわりを行い、参加を呼びかけます。</p> <p>■横浜山手西洋館ユースギャラリーの実施：年 1 回</p> <p>■ハロウィンウォーク及び西洋館クイズへの参加</p> <p>■新規来館者増を目指すとともに「大佛」の読み方をクイズに採り入れるなど、大佛次郎及びその作品、記念館を知っていただく機会として活用します。</p> <p>■観覧者の相互割引を継続します。</p> <p>■近隣商店街等とのつながりを大切にし、関係性を深めます。</p> <p>■ポンパドウルや、横浜高速鉄道とポスターの相互掲示を継続します</p> <p>■大佛次郎研究会及びフランス経済史研究会との施設及び資料利用に関する協定を継続します。</p>
---	---

<p>施設間連携として、テーマ展示Ⅱ（ポール・ルヌアール展）の広報連携を行います。</p> <p>⑥市民協働</p> <p>●NPO 法人横浜シティガイド協会との連携</p> <p>●記念館ボランティア 展示作業、イベント開催のお手伝いをいただきます</p>	<p>■過去に連携実績のある横浜美術館と、展示、商品販売等の連携を検討します。</p> <p>■ガイドに対するレクチャーを開催。同協会の業務による来館は、人数に関わらず団体料金を適用する協定を締結し、記念館へのツアーを促進します。</p> <p>■組織化に向け、ボランティアのメーリングリストを立ち上げます。</p>
---	--

カ 広報・プロモーション活動等の推進

<p>[取組内容]</p> <p>●従来からの広報よこはま、地域のタウン誌、新聞紙面等による広報活動を継続します。またSNS等を活用したプロモーション活動を行います。</p> <p>●大佛次郎及び記念館紹介ビデオの作成 エントランスでのエンドレスで上映により、入館の動機づけを行います。</p> <p>●ホームページのリニューアルを行います。</p> <p>●アプリの開発の検討</p> <p>●CATVでの情報発信 CATV局やその他TV局と連携して、企画展等の情報を発信します。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■3か月スケジュールの発行：年4回</p> <p>■29年度に向け、紹介ビデオの企画・構成について検討し、作成、放映。(3月末まで)</p> <p>■和室、会議室の利用状況・空き状況を発信し、インターネットでの確認を容易にして、利用促進を図ります。</p> <p>□ホームページ情報更新 月3回以上</p> <p>□ブログ情報更新 月5回以上</p> <p>□ツイッター更新 週1回以上</p> <p>□大佛次郎記念館アプリ開発について情報収集</p> <p>□CATV等TV局からの情報発信：年3回以上</p>
---	---

キ 後世に継承するための記念館の活性化

[取組内容]	[達成指標]
<p>①大佛次郎作品の刊行協力等、大佛作品を読める環境整備</p> <p>○「ちいさい隅」刊行協力</p> <p>●その他</p>	<p>■神奈川県新聞社より刊行予定の「ちいさい隅」刊行協力を行い普及に努めます。</p> <p>■単行本未収録の作品の刊行や絶版本の復刊を出版社に働きかけます。また所蔵資料を活用した出版も併せて働きかけます</p> <p>大佛関連書籍の出版社からの発行：年1冊以上</p> <p>■電子本配信の検討を行います。</p>
<p>②フランス関連資料の活用</p>	<p>■テーマ展示Ⅱ及びⅢで展示活用します。</p> <p>※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p>
<p>③若者の来館促進（スタンプラリー協力等）</p> <p>○スタンプラリー等参加</p>	<p>■キャンペーンイベント等のスタンプラリー拠点に参加し、若い世代の来館を促します。</p> <p>（27年度実施例：文豪ストレイドッグス、ロマンティックゲームフェスティバル（アンジェリーク・ルトゥール）</p>
<p>○街コン開催</p>	<p>■街コンジャパン主催、財団協力の「横浜アートの街コン」に協力し、若い世代の来館を促します。</p> <p>目標：年1回以上</p>
<p>④「大佛次郎記念館活性化プロジェクト」成果継承</p> <p>活性化プロジェクトアイデアを活用して、記念館の魅力アップを図ります。</p>	<p>■平成25年度～27年度の3年間実施された「ヨコハマハコいりムスメプロジェクト」から出されたアイデアをブラッシュアップして成果を継承します。</p> <p>継承企画：年1件以上</p>
<p>⑤子どもたちが記念館に集う取組</p>	<p>■小中学生入館料無料化と、親子の来館を促進する企画により入館者増を図ります。</p> <p>※個別事業の概要と目標については前掲の通り</p>
<p>⑥スタッフの展示案内によるリピーターの確保</p>	<p>□団体入館者に対する解説：年40回以上</p>

<p>⑦愛猫家の側面に着目した、猫を活かした企画展開</p> <p>⑧収入増及び健全な財務体質の実現に向け、個別事業評価システムによる自己評価、文学懇話会（会員構成：メディア・有識者等・市）の意見、年次評価等を活用したPDCAサイクルの構築</p> <p>●文学懇話会の開催 メディア、市、有識者から意見を聞く懇話会を年2回開催し、今後の運営や事業に反映させます</p>	<p>□猫関連企画の実施：年1回以上 事業規模や実施時期について現在検討中です。詳細について、今後、市と協議し決定します。</p> <p>□文学懇話会の開催：年2回 開催予定日：6月24日（金）、11月18日（金）</p>
---	---

(2) 施設運営について

ア 観覧及び市民・市民団体の教養活動のための施設の提供

[取組内容]	[達成指標]									
<p>①観覧施設の提供</p>	<p>① □開館について</p> <table border="1" data-bbox="721 1106 1398 1341"> <tr> <td>開館日数</td> <td>301日</td> </tr> <tr> <td>営業時間</td> <td>(4~9月) 10時~17時30分 (最終入館：17時) (10~3月)10時~17時 (最終入館：16時30分)</td> </tr> </table>	開館日数	301日	営業時間	(4~9月) 10時~17時30分 (最終入館：17時) (10~3月)10時~17時 (最終入館：16時30分)					
開館日数	301日									
営業時間	(4~9月) 10時~17時30分 (最終入館：17時) (10~3月)10時~17時 (最終入館：16時30分)									
<p>②和室及び会議室の積極的な貸出、レファレンス対応</p>	<p>② □利用料金について（平日利用料）</p> <table border="1" data-bbox="721 1433 1398 1576"> <tr> <td></td> <td>10時~12時30分</td> <td>13時~17時</td> </tr> <tr> <td>和室</td> <td>5,000円</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>会議室</td> <td>2,500円</td> <td>4,000円</td> </tr> </table> <p>□レファレンスサービス：年間 40件 □目標利用率 和室 20%（日） 会議室 25%（日）</p>		10時~12時30分	13時~17時	和室	5,000円	8,000円	会議室	2,500円	4,000円
	10時~12時30分	13時~17時								
和室	5,000円	8,000円								
会議室	2,500円	4,000円								
<p>③入館者数の増</p>	<p>③ □入館料について 大人（高校生以上） 200円（団体料金150円） 小中学生 無料 □年間入館者目標：17,800人 一日の入館者目標：59人 (実績：H25 15,770人 H26 16,678人)</p>									

イ 利用者ニーズの把握及び利用者サービスの向上、アイデアノウハウの一層の活用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●施設貸出の御案内、撮影等の貸出利用案内強化による利用促進 ホームページでの空き状況案内の実施（前掲）に加え、29年度中のメールマガジンでの案内実施に向けた準備を行います。 ●アンケート等による利用者ニーズの把握 ●案内・説明表示の外国語表記対応 ●展示解説や団体向け解説を実施します。（再掲） ●Wi-Fi アクセスポイント設置します。 ●電子マネー決済の導入。 ●施設の魅力を向上させるため、調度品類を修繕・更新します。 ●ショップ事業 大佛次郎記念館オリジナルグッズを展開し、団体客等に積極的に販促します。 図書の販売を継続します。 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■メルマガでの案内実施に向けた準備： 利用者に用途を開示した上でメールアドレスの取得開始 ■来場者に対するアンケートを実施します。月毎の集計を行い、館内スタッフに迅速なフィードバックを行います。 ■改善事例については、HP、SNS 等で情報発信します。 ■案内パンフレットの英語版作成：外国からの入館者に積極的に配布します ■公園内案内板の英語併記：実施 ■1階ロビー展示部分の英語併記：一部実施 □団体入館者に対する解説 年40回以上（再掲） ■解説時に、対話によりお客様のニーズを把握します。 ■Wi-Fi アクセスポイントの設置 ■suica 導入の検討をします。 ■随時実施 □新規グッズ開発：1アイテム以上 ■大佛次郎の個人文学館として、現在では一般の書店で手に入りにくい図書類を販売します。
--	---

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>①適切な運営組織体制と人材の配置 最少人数での最大効果を求め、情報の共有化、迅速な意思確認を徹底します。</p> <p>②文学館の専門性、公共の施設として適切な人員を配置。職員の能力向上のため、研修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室、研究室共通業務に必要な資格取得に向けたバックアップを行います。 ・研究室スタッフ 	<p>[達成指標]</p> <p>① <input type="checkbox"/>人材の配置について</p> <table border="1" data-bbox="715 331 1401 696"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長</td> <td>1人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>副館長</td> <td>0人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>3人</td> <td>事務室1、研究室2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2人</td> <td>事務室1、研究室1(週3日)</td> </tr> <tr> <td>業務委託</td> <td>2人</td> <td>月4回</td> </tr> <tr> <td>カルチャースタッフ</td> <td>4人</td> <td>受け付け窓口</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/>館内会議の実施 研究室会議：月1回 合同会議：月1回 企画会議：月1回</p> <p>■29年度に向けた準備： 研修や資格取得に関し、内容や費用の調査を行い、業務として受講・取得を推進するものと、自主的な受講・資格取得とするものの仕分けを行います。 例) サービス介助士(2級) 文化財 IPM コーディネータ 等</p> <p>■研究室は展覧会の企画立案、資料等の研究・整理等の能力を有する職員を配置します。</p> <p>■全国文学館協議会会議に参加し、文学館同士の情報共有・連携強化を行います。</p> <p><input type="checkbox"/>専門研修への参加 年1回以上</p>	項目	人数	備考	館長	1人		副館長	0人		職員	3人	事務室1、研究室2	アルバイト	2人	事務室1、研究室1(週3日)	業務委託	2人	月4回	カルチャースタッフ	4人	受け付け窓口
項目	人数	備考																				
館長	1人																					
副館長	0人																					
職員	3人	事務室1、研究室2																				
アルバイト	2人	事務室1、研究室1(週3日)																				
業務委託	2人	月4回																				
カルチャースタッフ	4人	受け付け窓口																				

エ 個人情報保護等、本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[取組内容]</p> <p>●個人情報保護・情報公開、環境への配慮、市内中小企優先発注等の取組の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報漏洩などに関する事故：0件</p> <p>■業務計画書、報告書のHPでの公開：実施 PDFのダウンロードを可能とします。</p> <p><input type="checkbox"/>市内中小企業への発注：全契約の9割以上(件数、金額)</p>
---	--

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理、公園管理

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●施設の安全・安心・快適環境維持と長寿命化の実施●保守点検、備品管理、環境維持の実施●公園の管理区域内の維持、公園管理者との連携調整	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">□施設運営に支障がでないように管理します。□館建設から 37 年経過し、建物、設備に劣化が進んでいるので、必要な修繕を実施するように調整します。□必要に応じ市と協議を行います。□不具合早期発見のため自主点検を実施します。 月 1 回□自主点検した内容を財団事務局と情報を共有します。
--	---

イ 小破修繕の着実な実行

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●小破修繕の取組	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■随時実施□不具合早期発見のため自主点検を実施します。 月 1 回(再掲)■修繕等の実施に際しては横浜市と情報共有するとともに、実績を HP、SNS 等を通じ積極的に情報発信します。
--	---

ウ 事故予防及び緊急時の対応

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●事故防止体制・防犯、緊急時の対応・感染症等衛生管理の実施	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">□施設運営に支障がでないように管理します。□館内巡回 1 日 2 回
---	---

エ 防災に対する取組

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●日常の取組、危機管理マニュアルの整備、防火・防災の取組、災害備蓄等の実施	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">□防災訓練 年 2 回
---	---

5 収支について

ア 適切な収支構造及び収支バランス

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●適切な収支構造及び収支バランス	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■優先順位を見極め、緊急度の高いもの、必要性の高いものから執行を検討し、提案した収支表に準じ、適切な収支管理を行います。
--	--

イ 指定管理料のみに依存しない収入構造の検討

<p>[取組内容]</p> <p>●指定管理料のみに依存しない収入確保の取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■有料入館者を増やすため、観光客、団体客を増やします □ショップ売上目標：1,500,000円</p>
--	--

ウ 経費削減及び効率的運営努力

<p>[取組内容]</p> <p>●管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□電気・水道使用量 前年度比マイナス</p>
--	---

6 PDCAサイクルの確実な運用

ア 日報及び月間事業報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>●日報、月間事業報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--	---

イ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理について

<p>[取組内容]</p> <p>●業務計画書、業務報告書の作成と管理</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
---	---

ウー1 業務評価（モニタリングの実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●モニタリングの実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--	---

ウー2 業務評価（自己評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●自己評価の実施による業務評価</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■業務の基準に則り適切に対応します。</p>
--------------------------------------	---

ウー3 業務評価（第三者による評価の実施）について

<p>[取組内容]</p> <p>●第三者評価の実施による業務評価 ※該当年度のみ対象</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■平成29年度の第三者評価の実施に向け、事業の案内を市を通じてお知らせし、視察対応をします。</p>
---	---

7 その他について

ア 保険及び損害賠償の取り扱いについて

[取組内容] ●保険の加入と損害賠償への対応	[達成指標] ■業務の基準に則り、対人1億円の保険金額の施設賠償等保険に加入します。
----------------------------------	--

イ 関係法令の順守

[取組内容] ●関係法令の順守	[達成指標] ■コンプライアンス事故ゼロの達成
---------------------------	-----------------------------------

ウ 市及び関係機関等との連絡調整

[取組内容] ●市及び関係機関等との連絡調整	[達成指標] ■モニタリングや、必要に応じた相互連絡により情報共有を行います。
----------------------------------	---

平成28年度 「大佛次郎記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	50,692,000		50,692,000		50,692,000	横浜市より
利用料金収入	525,000		525,000		525,000	
自主事業収入	2,454,000		2,454,000		2,454,000	
雑入	2,655,000	0	2,655,000	0	2,655,000	
印刷代(原版貸出、複写等)	85,000		85,000		85,000	
霧笛施設利用	1,070,000		1,070,000		1,070,000	
その他(ショッピング収入)	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
収入合計	56,326,000	0	56,326,000	0	56,326,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,484,000	0	34,484,000	0	34,484,000	
給与・賃金	28,965,000		28,965,000		28,965,000	
社会保険料	3,586,000		3,586,000		3,586,000	
通勤手当	625,000		625,000		625,000	
健康診断費	28,000		28,000		28,000	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000	
退職給付引当金繰入額	1,256,000		1,256,000		1,256,000	
事務費	3,581,000	0	3,581,000	0	3,581,000	
旅費	100,000		100,000		100,000	
消耗品費	660,000		660,000		660,000	
会議諸費	30,000		30,000		30,000	
印刷製本費	500,000		500,000		500,000	
通信費	380,000		380,000		380,000	
使用料及び賃借料	950,000	0	950,000	0	950,000	
横浜市への支払分	950,000		950,000		950,000	
その他	0		0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	150,000		150,000		150,000	
施設賠償責任保険	249,000		249,000		249,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	61,000		61,000		61,000	
リース料	301,000		301,000		301,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	
事業費	3,360,000	0	3,360,000	0	3,360,000	
自主事業費	3,360,000		3,360,000		3,360,000	
管理費	9,485,000	0	9,485,000	0	9,485,000	
光熱水費	2,480,000	0	2,480,000	0	2,480,000	
電気料金	2,000,000		2,000,000		2,000,000	
ガス料金	200,000		200,000		200,000	
水道料金	280,000		280,000		280,000	
清掃費	2,700,000		2,700,000		2,700,000	
修繕費	1,715,000		1,715,000		1,715,000	
機械整備費	750,000		750,000		750,000	
設備保全費	1,840,000	0	1,840,000	0	1,840,000	
空調衛生設備保守	450,000		450,000		450,000	
消防設備保守	300,000		300,000		300,000	
電気設備保守	150,000		150,000		150,000	
害虫駆除清掃保守	300,000		300,000		300,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	640,000		640,000		640,000	
共益費			0		0	
公租公課	2,550,000	0	2,550,000	0	2,550,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
印紙税	50,000		50,000		50,000	
その他()	0		0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	2,866,000	0	2,866,000	0	2,866,000	
本部分	2,866,000		2,866,000		2,866,000	
当該施設分	0		0		0	
支出合計	56,326,000	0	56,326,000	0	56,326,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成28年度 大佛次郎記念館 事業一覧

(1) 作品、旧蔵資料及び関連資料の収集、保存及び展示公開

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受払料(円)	備考
1	4月1日	3月31日	主催	1	収蔵品展	2階展示室	15,400	入館料 一般:200 高校生150 小中学生以下無料	和室・会議室利用者を含め年間17,800人を目標とする 年に1回程度展示替えを行う
2	4月1日	3月31日	主催	1	受賞品展示	記念室内及び 記念室前コーナー	上に含む	入館料	年に1回程度展示替えを行う
3	4月1日	3月31日	主催	1	1階ロビー展示	1階ロビー	上に含む	入館料	年に1回程度展示替えを行う
3	4月1日	3月31日	主催	-	収蔵品のオープンデータ化とWeb公開	-	-	-	大佛次郎記念館ホームページ上に掲載している、所蔵品データベースの追加

(2) 作品及び大佛次郎に関する調査研究及び情報の集積

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受払料(円)	備考
1	28年 3月17日	7月10日	主催	1	テーマ展示Ⅰ 福員空園コレクションvol2 「鞍馬天狗ワンダーランド—昭和の遊び」	2階展示ギャラリー サロン等	5,200	要入館料	サロンに遊び体験コーナー設置
2	7月14日	11月13日	主催	1	テーマ展示Ⅱ 時間を切り取る画家「ポール・ル・ヌール」	2階展示ギャラリー サロン等	5,100	要入館料	関連講演会等を開催 アーツフェスティバル実行委員会との連携
3	11月17日	3月12日	主催	1	テーマ展示Ⅲ ロマン・ロラン生誕150年 「大佛次郎とロマン・ロラン」	2階展示ギャラリー サロン等	5,100	要入館料	関連講演会等を開催
4	11月	11月	その他	-	『おさらぎ選書 第24集』発行	-	-	1部600~1,000	500部作成を予定

(3) 各種文化的事業の実施

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受講料(円)	備考
1	10月15日	10月15日	主催	1	横浜文学散歩	エリア未定	20	500	
2	3月4日	3月4日	主催	1	第43回 大佛次郎賞受賞記念講演会	横浜市開港記念会館 講堂	240	500	朝日新聞社との共同主催 中区役所へ後援を申請
3	5月	11月	協力等	2	大佛次郎研究会公開発表会	神奈川近代文学館 ホール	300	500 (資料代)	年2回の公開発表会の他、資料閲覧等に関し、賞書に基づき大佛次郎研究会の活動を支援
4	4月	11月	主催	2	和室公開(春・秋)	和室	800	要入館料	年2回、桜と紅葉のシーズンに和室を公開 パネルによる収蔵品や大佛の俳句等を紹介
5	4月	10月	協力等	2	大佛茶亭公開(春・秋)	大佛茶廊	-	無料	グッズ・書籍等の出張販売、大佛次郎及び記念館の紹介
6	11月	11月	主催	2	第4回ミニ・ビブリオバトル 「大好きな本ってどんな本？」	サロン	-	無料 (保護者は要入館料)	中区との連携を調整中
7	8月	8月	協力等	1	夏休み子どもアドベンチャー	全館	80	無料 (保護者は要入館料)	教育委員会主催
7	未定	未定	主催	1	感想画展	会議室等	-	無料 (保護者は要入館料)	小中学生無料化と、保護者の呼び込みによる入館者数の増大と入館料の確保を目指す
8	未定	未定	共催	1	夏の企画展	会議室	-	要入館料	企画調整中

(4) 施設の有効活用及び文化団体等への活動の場の提供

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受講料(円)	備考
1	4月1日	3月31日	その他	-	写真撮影等誘致	全館	目標5件以上	開館日:4,500/時間 休館日:33,000/日	開館時間中、開館時間外や休館日における撮影利用誘致
2	4月1日	3月31日	その他	-	会議室の利用促進のための方策	会議室	-	-	利用可能日の周知

(5) 市民協働及び地域とのネットワーク構築

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受講料(円)	備考
2	2月	2月	実行委員会	1	横浜山手芸術祭 「ユースギャラリー」	会議室	100	無料	
1	10月	10月	共催	1	山手西洋館ハロウィン・ウォーク	全館	300	無料 (保護者は要入館料)	協会の協賛との連携 従来の協賛から正式参加に
3	4月	3月	主催	-	記念館ボランティアの組織化	-	-	-	メンバーリストの立ち上げ

(6) 広報・プロモーション活動の推進

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受講料(円)	備考
1	未定	未定	その他	1	ホームページのリニューアル	-	-	-	和室及び会議室の利用状況配償等を実施
2	未定	未定	その他	-	紹介ビデオ作成とエントランスでの上映	-	-	-	入館を促すための映像上映
3	4月1日	3月31日	その他	-	広報事業	-	-	-	年間スケジュールの発行、財団ホームページや新聞への掲載依頼、CATV番組協力、ブログ、SNS運営等

(7) 後世の継承するための記念館の活性化

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受講料(円)	備考
1	4月1日	3月31日	協力等	-	「ちいさい隔」刊行普及事業	-	-	-	神奈川新聞社より発行される同書の刊行協力及び宣伝普及
5	4月1日	3月31日	主催	1	大佛次郎記念館活性化プロジェクト継承事業	-	-	-	これまでの過去3年間の成果を継承
6	11月	11月	主催	2	第4回ミニ・ビブリオバトル 「大好きな本ってどんな本？」(再掲)	サロン	-	無料 (保護者は要入館料)	中区との連携を調整中
7	8月	8月	協力等	1	夏休み子どもアドベンチャー(再掲)	サロン他	80	無料 (保護者は要入館料)	教育委員会主催
7	未定	未定	主催	1	感恩園展(再掲)	会議室等	-	無料 (保護者は要入館料)	小中学生無料化と、保護者の呼び込みによる入館者数の増大と入館料の確保を目指す
7	8月	8月	共催	1	ミュージアムクイズラリーよこはま2016	神奈川県立歴史博物館他	500	無料 (保護者は要入館料)	主に小中学生を対象とした市内博物館共催のクイズラリー 夏休みの約40日間
8	4月1日	3月31日	協力等	2	スタンブラリー等参加	1階ロビー	-	要入館料	「文豪ストレイドッグス」など 年間1~2回
9	4月1日	3月31日	協力等	-	横浜アートよ 街コン	-	20	要入館料	文学、雑等を切り口とした街コン
11	5月24日	11月18日	主催	-	大佛次郎記念文学懇話会	会議室	-	-	

収益事業

No.	開始日	終了日	主催・共催・協力等	実施回数	事業名	会場	入場者・参加者数 見込み(人)	入場料・受講料(円)	事業内容
1	4月1日	3月31日	主催	-	ショップ事業	受付	-	-	28年度売上目標150万円 新グッズ開発1件以上